

5 . PAZ内の全面緊急事態 における対応

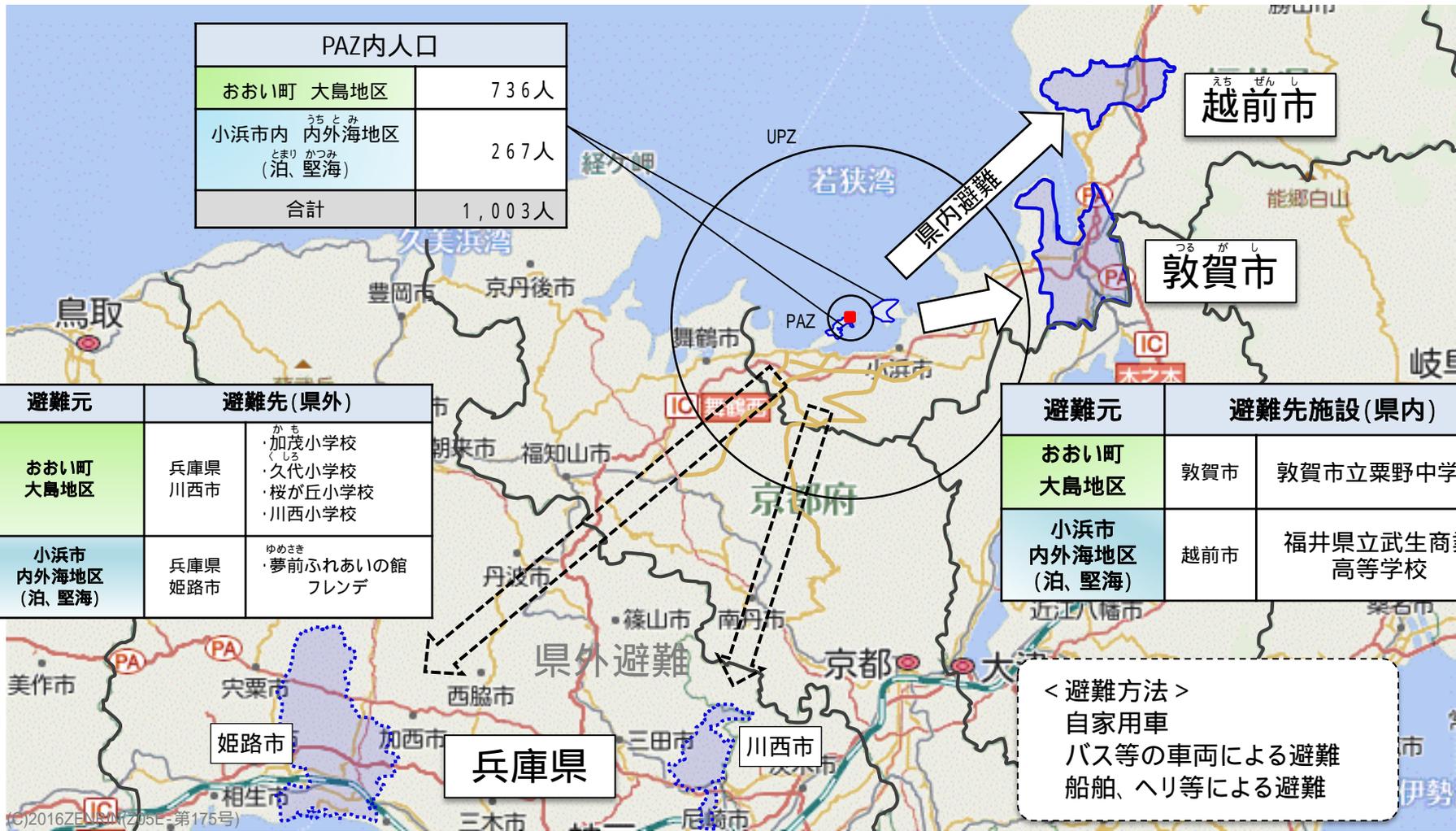
< 対応のポイント >

1. 自家用車による避難ができない住民については、移動手段(バス等)を確保し、避難を開始すること。
2. 避難先施設の受入れ体制を整えること。
3. 安定ヨリ素剤を持っていない者(紛失等)に、緊急配布すること。

おい町及び小浜市におけるPAZ内の住民の避難先

- おおい町大島地区、小浜市内外海地区(泊、堅海)住民の避難については、福井県内及び県外において避難先を確保。地域コミュニティの確保と行政支援継続の観点から、県内避難を基本とする。
- 両地区における避難先については、平時から避難計画に関する住民説明会やケーブルテレビ放送・訓練等を通じて住民に周知。

PAZ内人口	
おい町 大島地区	736人
小浜市内 内外海地区 (泊、堅海)	267人
合計	1,003人



避難元	避難先(県外)	
おい町 大島地区	兵庫県 川西市	<ul style="list-style-type: none"> 加茂小学校 久代小学校 桜が丘小学校 川西小学校
小浜市 内外海地区 (泊、堅海)	兵庫県 姫路市	<ul style="list-style-type: none"> ゆめさき 夢前ふれあいの館 フレンデ

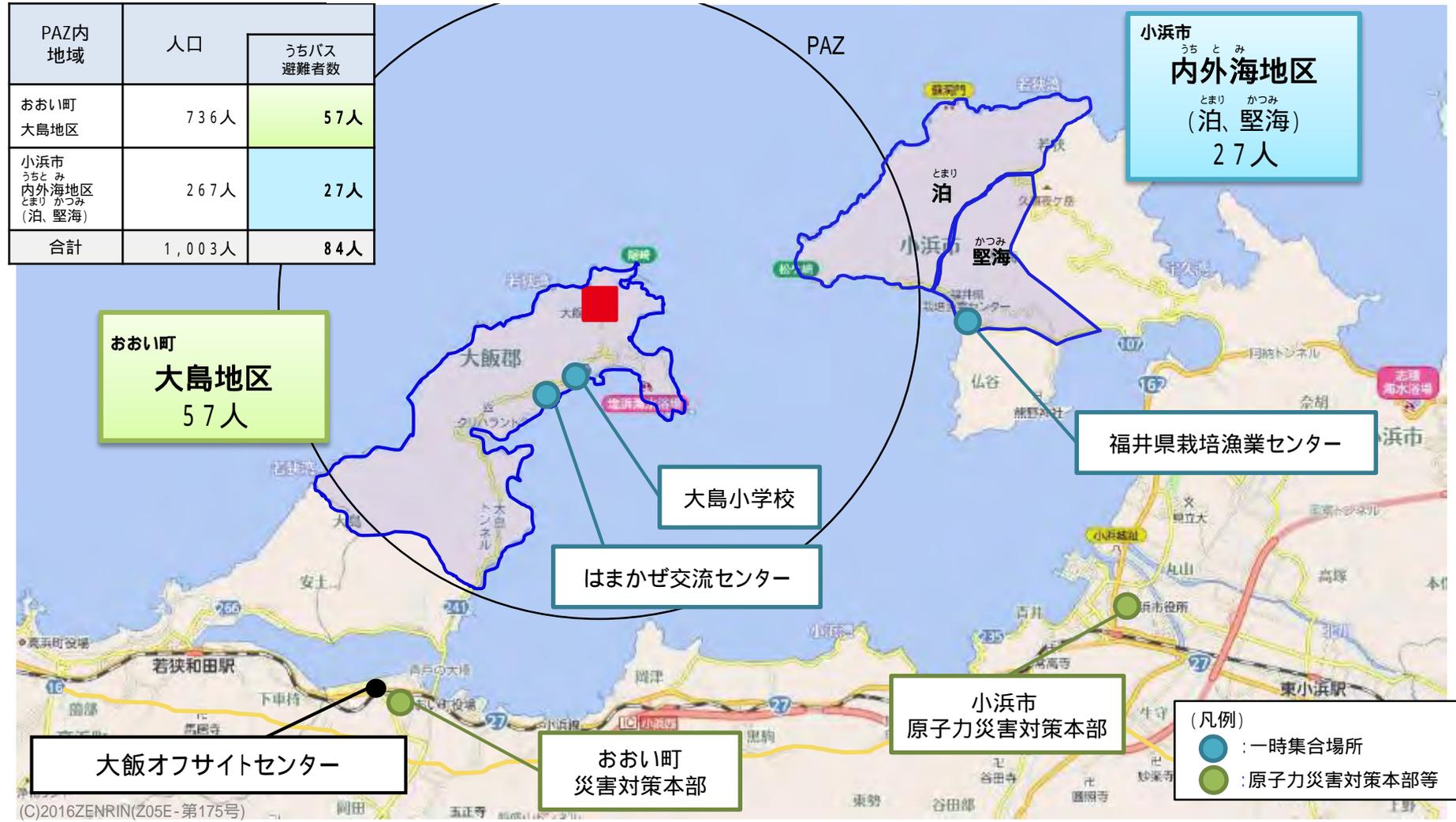
避難元	避難先施設(県内)	
おい町 大島地区	敦賀市	敦賀市立粟野中学校
小浜市 内外海地区 (泊、堅海)	越前市	福井県立武生商業 高等学校

< 避難方法 >
 自家用車
 バス等の車両による避難
 船舶、ヘリ等による避難

PAZ内における自家用車で避難できない住民の数

ちやう お ば ま し
 ○ おおい町、小浜市による調査の結果、両地区における自家用車で避難できない住民は全1,003人のうち、84人。

PAZ内地域	人口	うちバス避難者数
おおい町 大島地区	736人	57人
小浜市 うちとみ 内外海地区 (泊、堅海)	267人	27人
合計	1,003人	84人



不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、合計57人分、バス2台。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

< おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力 >

	想定対象人数 ¹	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	57人	2台	バス1台当たり45人程度の乗車を想定 [資料P42]

1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

< おおい町における全面緊急事態での輸送能力の確保 >

		確保車両台数		備考
		バス		
(A) 必要車両台数		2台		
(B) 確保車両台数		2台		
確保先	バス会社 [福井県嶺南地方]	1台		保有車両台数 バス187台
	関西電力	1台		保有車両台数 バス9台

不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- お ば ま し
- 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民27人分、バス1台。
 - 全面緊急事態発生時には、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
 - 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

< 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力 >

	想定対象人数 ¹	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	27人	1台	1台当たり45人程度の乗車を想定【資料P42】

1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

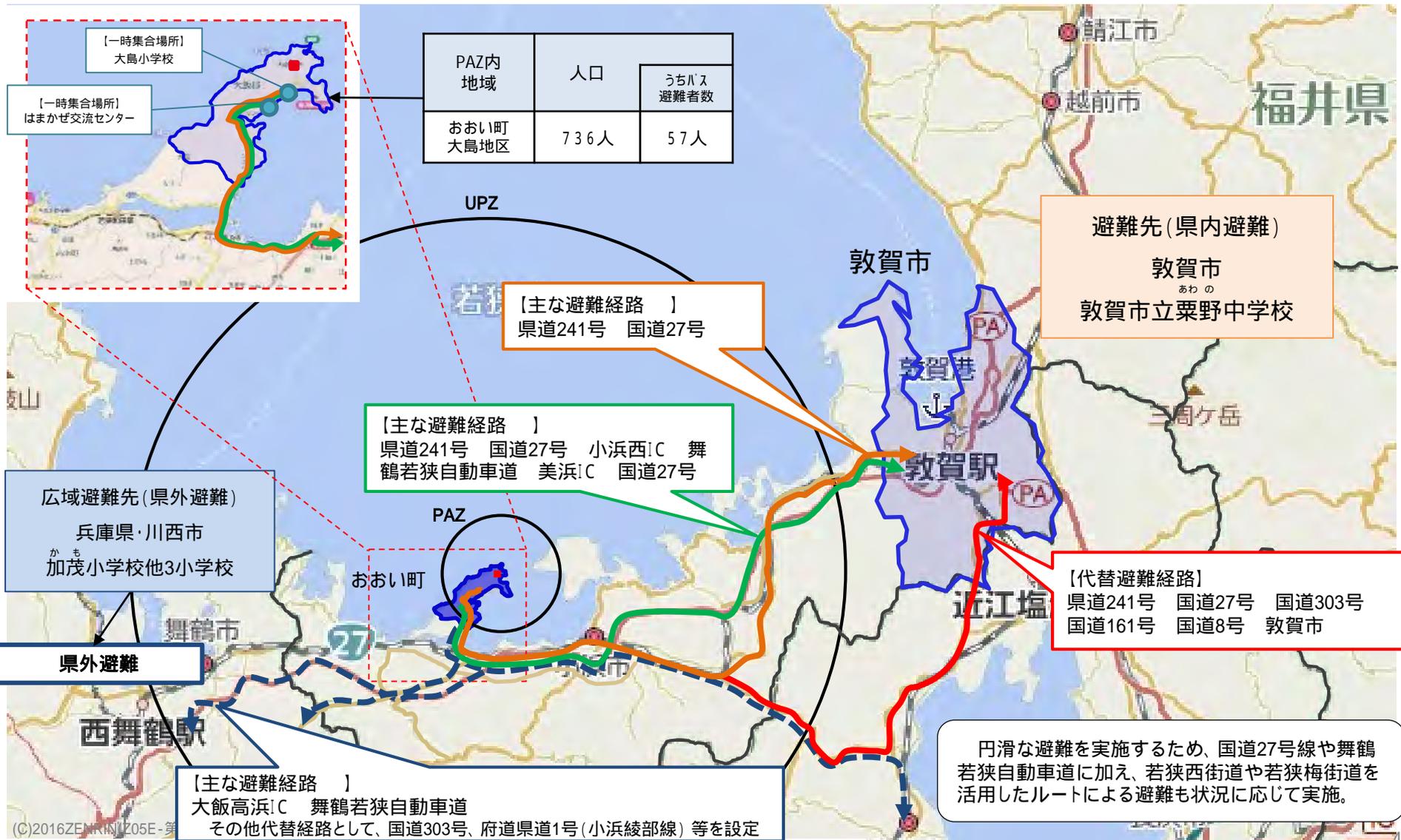
< 小浜市における全面緊急事態での輸送能力の確保 >

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		1台	
(B) 確保車両台数		1台	
確保先	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

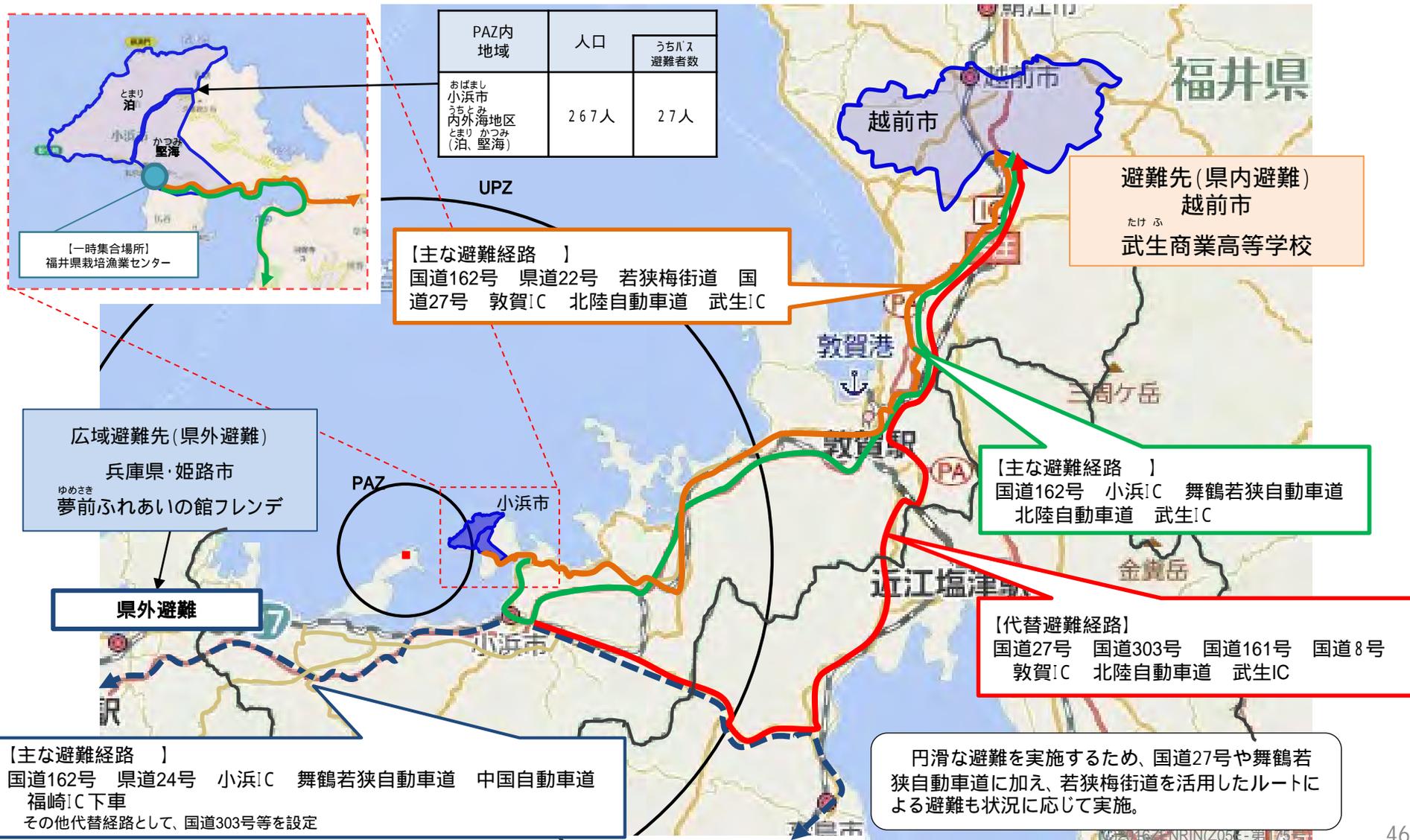
不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

おい町大島地区から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。



- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートを活用し避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で、避難先まで避難を実施。



避難を円滑に行うための対応策

○ PAZ及びUPZ内の住民の車両による避難を円滑に行うため、ヘリからの映像伝送により道路渋滞を把握し、関係府県・関係市町及び府県警察による避難車両の誘導や、主要交差点等における交通整理・規制、「道路情報板」等を活用した広報等の交通対策を行う。

大飯地域における交通対策

1. 交通誘導対策

・主要交差点等における府県・市町職員や府県警察職員等の交通整理により、円滑な避難誘導を実施。

2. 交通広報対策

・道路管理者が管理する「道路情報板」及び府県警察が管理する「交通情報板」を活用した広報
 ・日本道路交通情報センター（JARTIC）が行うラジオ放送、交通情報提供システム（AMIS）を利用したカーナビへの情報提供による広報
 ・県配備の「避難誘導・交通規制用LED表示装置」による広報 等

3. 交通規制対策

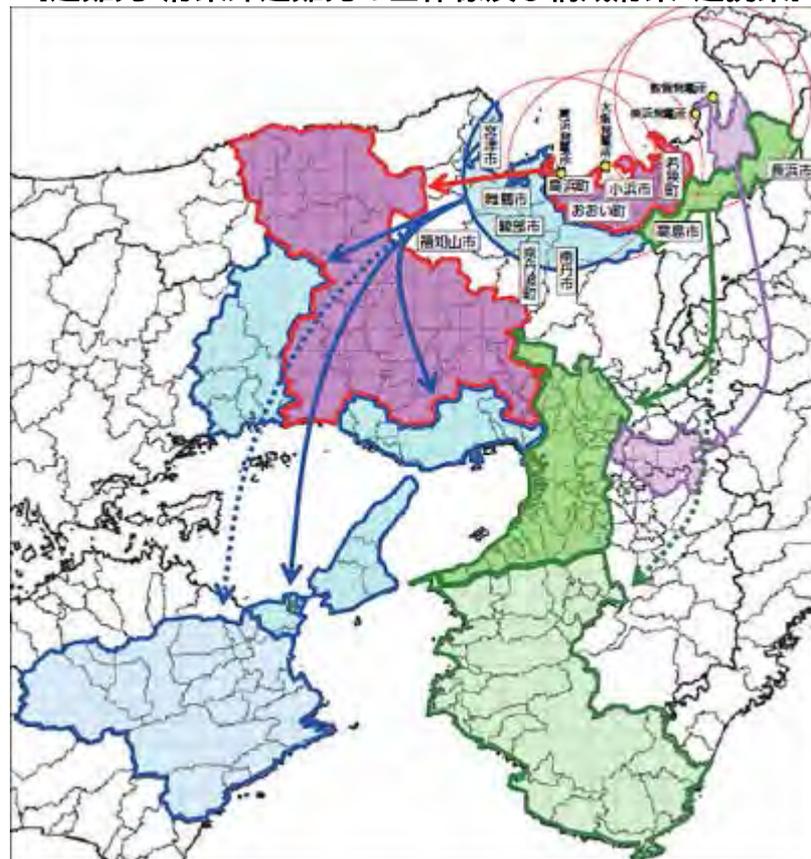
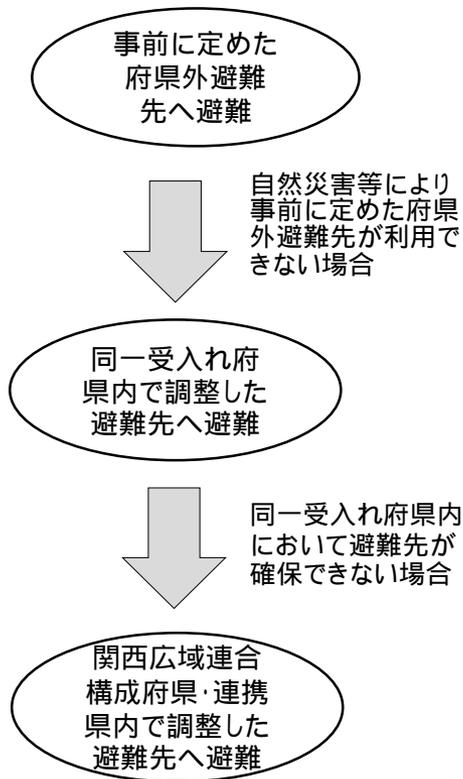
・混雑発生交差点における信号機操作、混雑エリアでの交通整理・誘導・規制等による円滑な交通流の確保。
 ・信号機の滅灯等動作不能の事態が発生した場合は、自家発電機等による応急復旧、警察官等による現場交通規制により対応。



- 自然災害等により、避難先施設が利用できなくなった場合に備え、福井県、京都府及び滋賀県では府県内に加え、府県外においても避難先をあらかじめ確保済み。
- さらに、府県外避難先が、被災等のやむを得ない事情により、事前に定めた人数の受け入れができない場合には、同一受け入れ府県内において、必要な受け入れの割当てを見直し、避難先の確保を行う。
- また、避難先府県において、受け入れの一部又は全部ができない場合には、関西広域連合に対し、その受け入れができない部分についての受け入れの調整を要請する。
- 関西広域連合は、受け入れの要請を受けた場合には、構成府県・連携県に受入可能人数・施設等を照会し、避難元府県その他の構成府県・連携県と調整の上、避難先の確保を行う。

【府県外避難先の多重確保】

【避難元・府県外避難先の全体像及び構成府県・連携県】



関西広域連合の構成府県・連携県	
構成府県	連携県
滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 徳島県	福井県 三重県 鳥取県

滋賀県、京都府、福井県は他府県の避難先としては想定しない

